

## 植込型補助人工心臓管理医認定基準

- (1) 日本循環器学会循環器専門医、または心臓血管外科専門医、または日本心臓血管外科学会国際会員、または日本小児循環器学会専門医である。
- (2) 日本心不全学会および日本人工臓器学会に所属している。
- (3) 使用する植込型補助人工心臓システムについての研修プログラムを受講している。  
5つの研修コース(東京大・東京女子医大共催補助人工心臓研修コース、国立循環器病研究センターおよび JACVAS のコース、西日本補助人工心臓研修セミナー、東北・北海道地区補助人工心臓研修コース、九州・沖縄地区補助人工心臓研修コース)のどれかに1回以上参加している。
- (4) 日本臨床補助人工心臓研究会、人工心臓と補助循環懇話会(AHACの会)、またはDT研究会のどれかに1回以上参加すること(参加証明を添付すること)。
- (5) 植込型補助人工心臓実施施設もしくは植込型補助人工心臓管理施設、もしくはこれらの施設と密接に連携を取れる施設で認定施設と協力して、保険償還された植込型補助人工心臓装着患者の管理を3例以上(入院の場合1か月以上、外来の場合3ヶ月以上)行なった経験がある(\*)。原則として日本で植込型補助人工心臓として製造販売承認を受けているデバイスまたは臨床治験デバイスの管理経験とする。
- (6) 上記基準に基づき、補助人工心臓治療関連学会協議会植込型補助人工心臓管理医認定委員会が認定する。
- (7) 本基準および今後定める更新基準に関しては、適宜改訂を行うこととする。

\* : 管理を経験した植込型補助人工心臓装着例については、別紙により報告すること。

この基準は、2019年9月6日から有効とする。

補助人工心臓治療関連学会協議会

〒112-0004 東京都文京区後楽 2-3-27 テラル後楽ビル 1F  
特定非営利活動法人日本胸部外科学会 内